

令和6年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和7年6月19日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市重要文化財旧函館区公会堂（函館市元町11番13号）		
設置条例	函館市重要文化財旧函館区公会堂条例		
指定管理者名	名美興業株式会社	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
指定管理者の特別な要件		選定区分	☒ 公募 ☐ 非公募
設置目的	重要文化財旧函館区公会堂を保存し、およびその文化的活用を図る。		
設置年月	令和3年4月（建築 明治43年9月）	建設費	58千円
構造規模等	木造2階建棧瓦葺（本館）、木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺（附属棟） 建物延床面積1,900.12㎡ 1階 大食堂、寢室、事務室等、2階 大広間等		
開館時間 休館日等	開館時間：4/1～10/31 火曜日～金曜日まで 午前9時～午後6時 土曜日、日曜日、月曜日 午前9時～午後7時 11/1～3/31 午前9時～午後5時 休館日：年末年始（12/31～1/3）、館内整理日（随時）		
料金体系	一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円 ※利用料金制の採用 ☐ 有 ☒ 無		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1) 管理業務 ア 入館者に関すること（案内・説明、連絡調整・情報提供等、入館制限、利用状況、苦情対応） イ 大広間等の使用の許可および制限に関すること ウ 維持管理に関すること（清掃、警備、施設・設備保守点検、修繕、備品管理、敷地内管理） エ その他教育委員会が定める業務（計画・報告等） オ 設置目的に資する事業（公会堂Cityコンサート、緑の学校等） (2) 委託事業 ア 社会教育施設等使用料収納事務委託（公会堂使用料の収納事務） (3) 自主事業 ア 売店事業 イ 貸衣裳事業 ウ カフェ営業 エ 記念写真販売 オ クリスマスミニコンサート カ お正月飾り販売 2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア ホームページ、ツイッター、施設案内パンフレット等による広報 イ 危機管理体制の整備 ウ 職員研修の実施 3 市民ニーズの把握の実施状況 ア アンケートボックスの設置（通年） 選択式による来館目的や展示の満足度等のほか、自由記述による意見・要望の記載欄を設け、適宜対応している。 令和6年度回答数：839件 イ 窓口対応（通年）			

4 施設の利用状況

・令和6年度の月別入館者数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	21,780	33,299	28,007	35,582	53,875	38,427	24,499	16,999	11,462	7,819	11,107	19,169	302,025

・年度別利用件数

(単位:人、件、円)	← 休 館 →		← 当 期 指 定 期 間 →			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入館者数	-	-	84,849	157,600	182,970	302,025
貸室利用件数	-	-	2	13	20	25
	大広間	-	2	9	18	19
	会議所 事務室	-	0	4	2	6
使用料収入	-	-	18,976,690	37,109,545	44,118,045	73,886,625

※平成30年10月～令和3年3月は保存修理工事に伴い休館
 当期指定期間: 名美興業株式会社(現指定管理者)
 貸室開始は令和3年度～(4月1日～10月31日の期間に限る)

5 指定管理者の収支状況

(単位:円)		← 休 館 →		← 当 期 指 定 期 間 →			
区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	委託料	—	—	55,599,746	54,615,802	55,485,588	55,442,000
	利用料金						
	事業収入	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	損失・収支補填金	—	—	—	87,743	0	0
	雑入	—	—	1,000	356	87,986	23,703
	計	—	—	—	54,903,901	55,773,574	55,665,703
支出	人件費	—	—	19,852,127	19,870,705	20,531,325	19,912,647
	印刷製本費	—	—	2,366,663	1,948,022	1,161,238	2,416,917
	燃料費	—	—	2,783,558	2,893,990	2,740,211	2,687,530
	水道光熱費	—	—	2,294,402	2,474,334	2,388,895	2,614,317
	使用料・賃借料	—	—	1,640,320	1,753,400	1,776,140	1,753,400
	委託費	—	—	14,921,216	16,488,346	4,518,484	4,444,597
	通信運搬費	—	—	731,946	668,974	693,557	708,899
	消耗品費	—	—	2,143,618	948,083	589,872	818,303
	修繕費	—	—	72,600	140,800	457,050	359,700
	支払手数料	—	—	67,652	62,380	53,630	88,050
	新聞図書費	—	—	31,470	33,360	0	
	雑費	—	—	358,950	442,668	456,740	457,000
	広告宣伝費	—	—	81,000	11,000	10,000	30,000
	旅費交通費	—	—	1,200	200	1,580	420
	接待交際費	—	—	35,000	0	0	0
	備品等	—	—	442,630	0	0	0
	開業準備費	—	—	0	0	0	0
	事業費	—	—	215,208	290,439	338,017	410,290
	その他管理経費	—	—	5,139,018	4,920,000	17,759,284	17,727,384
	租税公課	—	—	2,011,548	1,957,200	2,034,993	1,901,000
	計	—	—	55,190,126	54,903,901	55,511,016	56,330,454
当該施設の利用者 一人当たり税金投入コスト		—	—	—	111	62	△ 61

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 ☒ 有 ・ ☐ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	■ A	様々な場面について、柔軟に対応して、円滑な運営に努めた。	令和6年度は、年間入館者数が302,025人と過去最多を記録し、例年になく大きな注目と集客を得ることができました。アニメ作品による聖地巡礼ブーム、SNSを通じた情報拡散、新型コロナウイルス感染症の改善による観光客の回復、外国人観光客の増加などが相乗的に作用し、旧函館区公会堂の新たな入館者層の拡大につながりました。 一方で入館者数の増加に比例して、リーフレットやチケットの印刷製本費、消耗品費、施設維持に係る経費などの運営コストも増加しており、収支バランスの面では課題が残る状況です。支出を抑えるための努力・工夫を様々な面で実施しましたが、昨今の値上がりもあり5年前の予算に収めるのは大変苦慮しました。今後、利用者のニーズ、職員待遇の維持・レベルアップを図り魅力的な施設を維持するためにも、経費を始めとした収支の最適化を目指し、持続可能な運営体制の確立に向けた取り組みをしてまいります。 施設管理面では、独自に「維持管理強化運動」を設定し、点検項目表に基づいたチェックを行い点検体制を強化。経年劣化や気象による影響の早期発見に努めました。しかしながら、かねてからの課題である「ペランダからの雨漏り」や「1階廊下の油染み」などに加え、「松枯れ対策」「雨樋の水漏れによる外壁腐食」といった新たな修繕課題も顕在化しており、引き続き函館市と連携して改善を図っていく必要があります。 事業面では、アニメを中心とした集客を函館市と連携しながら積極的に実施しました。また取材対応も多く、公会堂だけでなく函館市の魅力拡大に貢献できるよう進めてまいりました。今後も観光資源としての魅力を活かすためのコラボレーション企画や、リピーター獲得に向けた貸衣装事業のさらなるPR、多言語対応によるガイドの充実など、観光ニーズの多様化に対応する新たな取組を目指します。また、地域連携によるイベントの企画や物販の拡充なども、施設の利用と魅力向上のための有効な方策として位置づけてまいります。 今後は、令和6年度の成果を一過性のものとせず、継続的な魅力の創出と施設価値の深化を図るとともに、当社のビルメンテナンス業としての専門性を活かし、重要文化財である旧函館区公会堂の「保存」と「活用」の両立を支える維持管理体制をさらに強化してまいります。函館市民および観光客の双方に長く愛される施設であり続けるため、今後も事業運営の質と効率性の向上に一層取り組んでまいります。
	□ B		
	□ C		
	□ D		
サービスの 質の状況	■ A	日々の経験等を基に、より適切に対応し資質向上等に努めた。	職員研修については、オリジナルの接客マニュアルを用いてOFF-JTを実施。その後、スタッフによるQJTを行い、新人スタッフが早期に現場に馴染み、既存スタッフと同等のサービスを提供できるように努めました。休館日には全スタッフが参加し、入館業務や接遇に関した話し合い・研修を行い、質の向上を図っております。指導者についても、これまでは本担当者が実施していた内容を公会堂スタッフが行えるようになっており、オープンからの育成活動が成果を上げています。さらに、今年度は公会堂が発起人となり、共通務を実施している「北方民族資料館」「函館市文学館」「旧イギリス領事館」の館長らと、入館についての課題や各施設の対応、また西部地区を盛り上げられるような取り組みを検討する集まりを行いました。これについては、今後も具体的な内容につなげていけるよう進めてまいりたいと考えております。 課題とされていた「外国人対応」や「多客時対応」においても、実地経験の積み重ねや創意工夫により、安定した対応が可能となっております。一方、入館者数の増加に伴い、下足室での靴の履き間違いや盗難の疑いといったトラブルについては、動線・靴箱配置の見直しや注意喚起の案内・掲示物などで対策し、再発防止策を講じておりますが、下足室に靴を置いたままにするという基本の対応を再検討する必要も実感しております。これまで4年間、管理運営した経験値を糧に、今後も引き続き利用者満足度の向上を目指し、サービス品質の強化に努めてまいります。
	□ B		
	□ C		
	□ D		
団体の経営 状況	■ A	特に問題なし。	昨今の物価および最低賃金上昇、昨年の入館者増により、支出が増加しております。引き続き、収支バランスを考慮しながら、函館・西部地区のランドマークともいえる施設である公会堂の魅力を発信し続け公会堂の設置目的に即した管理運営を目指して参ります。
	□ B		
	□ C		

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	□ A	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われている。	アニメ映画の効果もあり国内外の入館者数が大幅に増加しているが、引き続き適切なオペレーションに取り組むこと。貸室利用について、令和5年度から件数自体は増加しているものの、利用期間全体から見ればまだ少ないことから、利用増加施策についても継続的に取り組むこと。また、引き続き異常個所の早期発見に加え、適切な維持補修に努めること。
	■ B		
	□ C		
	□ D		
サービスの 質の状況	□ A	アンケートの実施やホームページ・SNSを活用した情報提供など、安定したサービスの質が保たれている。	職員の接遇については、アンケートで概ね高評価であり、インバウンド需要が増加している中で、外国語の研修にも取り組まれ、適切に対応されている。一方、アンケートの回答率が低いことから、引き続き効果的に入館者の意見や要望を把握できるよう検討すること。
	■ B		
	□ C		
	□ D		
団体の経営 状況	■ A	団体の経営状況は安定している。	電気料金の値上げ等経営において厳しい局面が続くことが予測されるが、引き続き、自主事業収入の確保および入館者増につながるサービス・広報等に取り組み、安定した事業運営に努めていただきたい。
	□ B		
	□ C		

◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書を遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。